

各種対策事例について

1 各漁協及び市町による対策

内水面においては、各内水面漁業協同組合による飛来防止、有害捕獲等が行われている。
海面においては、市町等による有害捕獲が実施されている。

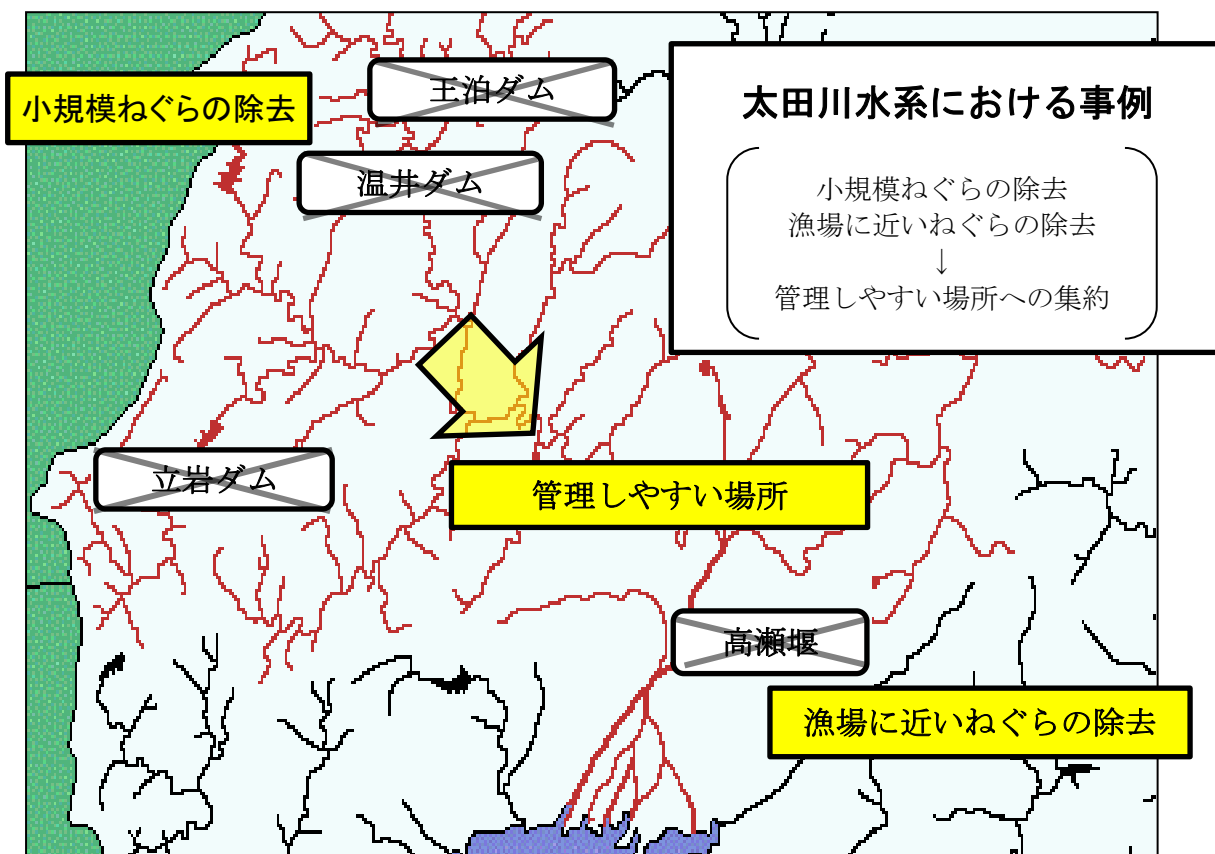
- (1) ロケット花火等による飛来防止
- (2) テグスによる飛来防止
- (3) カカシの設置による飛来防止
- (4) 銃器の使用が可能な場所における有害捕獲



2 地域連携対策

太田川水系及び県北部水系（江の川水系及び高梁川水系）にある漁場に近いねぐら・コロニーにおいて、専門家の指導を受けながら、一斉に対策を実施することによって、ねぐら・コロニーの集約を目指し、広域的かつ効率的な対策を実施している。

- (1) 小規模ねぐらにおける花火及び銃器による追出し
- (2) 河川におけるテグス張り等の飛来防止
- (3) ねぐら及びコロニーにおけるビニールひも張りによる除去
- (4) 銃器が使用可能な場所における捕獲



3 ドローンの応用

平成 27 年 12 月 10 日付け「カワウ等被害対策に無人航空機を利用する場合の指導指針」（水産庁増殖推進部栽培養殖課 制定）に基づき，人，周辺環境等に対する安全性を確保しつつ，その適正な実施によって効果的にカワウ等被害対策を実施している。

- (1) 繁殖状況の確認
- (2) ビニルひも張り
- (3) テグス張り
- (4) 追払い



4 戦略的捕獲

カワウの巣及び卵・ヒナに対する執着が強い傾向があり、人為的な影響を受けても成鳥（繁殖に参加している個体）がコロニーに戻ってきやすいという特徴があるため、繁殖期に特徴的に見られるカワウの行動特性を利用した戦略的・効率的な捕獲手法の検討を行っている。

5 繁殖抑制

県東部のコロニーである津軽島において、ドライアイス法による繁殖抑制試験を実施している。

